

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市道改良事業	会計	一般会計	事業No.	574	施策順No.	44-008
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-12-7		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	44 交通機関と道路の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市道						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	市道延長:m	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	便利で安全に移動ができる。							
	対象をどう変えるか	施工路線数:路線	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		市道延長:m	1705432	1711592	1711734	1713140			
		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		施工路線数:路線	94	96	92	100	68	80	C
		改良率:% (改良済延長/市道実延長×100)	46.37	47.16	47.27	48	47.28		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		数多くの地元要望の中で、優先順位、効率的な事業に努めたが、目標数値の改良率に達することはできなかった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>一般市道は、通勤や通学、買い物など市民生活に密着した重要な生活道路として利用されています。しかしながら、幅員が狭小であったり路面の傷みが目立ったりしている箇所もあり、通行車両や歩行者の安全性や快適性の向上を目的として、幅員4m以上への拡幅改良、待避所設置・突角をとる等の整備及び未舗装区間を舗装する事業である。</p> <p>1 一般道路改良事業(含:電源立地地域対策交付金事業) 2 小規模道路改良事業(含:ふるさと道普請) 3 道路舗装事業 4 生活関連道路整備事業</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 一般道路改良事業 市道第296号線(H22年度繰越)</p> <p>2 一般道路改良事業 市道飯田469号線他 20路線</p> <p>3 電源立地地域対策交付金事業 南信濃11号線他 1路線</p> <p>4 小規模道路改良事業 市道上郷69号線他 10路線</p> <p>5 ふるさと道普請 市道千代142号線</p> <p>6 道路舗装事業 市道第141号線他 8路線</p> <p>7 生活関連道路整備事業 市道川路2号線他 22路線</p>	<p>1 事業実施路線</p> <p>2 事業実施路線</p> <p>3 事業実施路線</p> <p>4 事業実施路線</p> <p>5 事業実施路線</p> <p>6 事業実施路線</p> <p>7 事業実施路線</p>	<p>1 1路線</p> <p>2 21路線</p> <p>3 2路線</p> <p>4 11路線</p> <p>5 1路線</p> <p>6 9路線</p> <p>7 23路線</p>
23年度実施計画	<p>1 一般道路改良事業 市道上郷11号線(H22年度繰越)</p> <p>2 測量設計・地元協議・用地買収・物件補償・工事施工[4m以上の拡幅工事・待避所突角等部分改良・未舗装市道の舗装工事]</p> <p>一般道路改良事業・電源立地地域対策交付金事業・小規模道路改良事業・ふるさと道普請・道路舗装事業・生活関連道路整備事業</p>	<p>1 事業実施路線</p> <p>2 事業実施路線</p>	<p>1 1路線</p> <p>2 80路線</p>

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項 (補正事項)電源立地地域対策交付金 6,240千円(一般財源) (そ)繰越金 21→22繰越明許費 7,980千円 22→23繰越明許費 19,174千円
		県支出金				
		起債				
		その他	7,980	7,980		
		一般財源	112,664	93,432	83,510	
		計(A)	120,644	101,412	83,510	
		正規職員所要時間		8,416		
		臨時職員等所要時間		152		
		人件費計(B)		30,259		
		トータルコスト A+B		131,671		

4 事業に対する市民や議会の意見

地元自治会より、改良整備に対する要望が多い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	4年間で350路線での改良工事を行い安全な通行の確保ができた。		
	後期に向けた課題	未改良区間も多く安全な通行の確保の為に、引き続き事業を進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	改良工事を実施した箇所において、スムーズな通行が可能となり、安全性や快適性が向上した		
	後期に向けた課題	未改良区間の改良工事に取り組むことにより、成果を向上させることができる。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	工法の検討によりコスト削減を図る。		
	後期に向けた課題	工法の検討や効率的な事業実施によりコスト削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	市道の整備であり、道路管理者として道路整備を行った。		
	後期に向けた課題	市道の整備であり、引き続き道路管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果た しましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政は どのような働きかけをしてきましたか、又は、 配慮してましたか	4年間の振り返り	①市道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性の向上の道路整備。		
	後期に向けた課題	①市道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性の向上の道路整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地元要望箇所など改良必要路線が多数あるなか、改良できた箇所・区間については、通行車両や歩行者の安全性や快適性の確保ができた。		
	後期に向けた課題	未改良区間や地元要望箇所など多数あるが、最良の工法や効率的な事業を進める事により、一層効果を発揮できる。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------